



優勝した男子バレー（奥）

町の誇りをかけた 熱戦

第61回上益城郡民体育祭

上益城郡民体育祭が、7月16・17日（一部競技を除く）に益城町を主会場に開催され、18競技で熱戦が繰り広げられました。山都町は男子バレーと弓道の2種目で優勝し、総合成績は2位でした。



炎天下、白球を打つ軟式野球



初戦に臨む山都剣道（左）

県中学校総合体育大会

7月23・24日、熊本市を中心に熊本県中学校総合体育大会が開催されました。山都町からもたくさんの選手が上益城郡の代表として出場しました。

熊本工業高校体育館で行われた男子バレーでは矢部中学校が準優勝し、九州大会への出場を決めました。矢部中のバレー部はこれで、3年連続での九州中体連出場となり、九州大会につながる春の新人戦と合わせて6大会連続での九州大会出場を果たしました。そして、8月6～7日に菊池市で行われた大会は残念ながら予選敗退という結果でした。



矢部中男子バレー部

九州大会で第3位

矢部卓球クラブ

7月30・31日に鹿児島市で行われた全九州卓球選手権大会小学生部門の団体戦に、矢部卓球クラブが出場。熊本県大会4位での本大会出場でしたが、県大会以上に実力を発揮し、堂々の3位となりました。

矢部卓球クラブ（監督：原田欣弥）の部員は現在、中学生・小学生20名。小原にある練習場で毎日欠かさず練習を行っています。15年前にこの大会で優勝しており、それ以来となる表彰台です。



矢部卓球クラブ。前列左から牧下風香さん、福田美咲さん、山下理子さん、村上愛さん、中川葵久美さん。後ろは坂本公生コーチ

夏の全国高校野球選手権大会 熊本大会

矢部高・蘇陽高の 合同チーム 初戦で涙をのむ

	1	2	3	4	5	6	7	
矢部・蘇陽	0	0	0	1	2	0	0	3
水 俣	4	0	1	6	0	0	×	11



試合後、スタンドにあいさつするナイン



4回、國武選手の本塁打



両校の全校生徒がスタンドで応援



試合には、矢部、蘇陽、新生矢部の3種類のユニフォームで臨んだ。

夏の全国高校野球選手権大会への出場をかけた、熊本大会が7月9日から開催されました。県立高校再編により、合同チームで本大会に臨んだ矢部高・蘇陽高が、大会6日目となる7月14日の第一試合、藤崎台県営野球場で行われた水俣高校戦に臨みました。

初回、2年生エース増田力也選手が、水俣高打線にいきなりつかまり、4失点を喫してしまいます。その後3回裏に1点を追加されて迎えた4回表、2回以降マウンドに上がっていた4番の國武魁雲選手がレフトスタンドへソロホームランを打ち、反撃の波に乗るかと思われまし

た。しかしその裏、その2番手國武選手が水俣高打線に連続ヒットを浴び6失点してしまいます。

このままコールドかと思われた5回表の攻撃で、矢部・蘇陽合同チームの意地が爆発。少しでも長く試合がしたいとの強い思いを表すように、1番岩永健悟選手、2番今村龍生選手の連続長打が出て2点を返します。

その裏から再びマウンドに上がったエース増田選手。初回の乱れを取り返すような好投で5回、6回を無失点に抑えましたが、7回表に得点することができず、規定（7回までに7点差以上）によりコールド負けとなりました。

チームを率いた清水大輔監督は、「初回の失点が響いた。山都町にはない暑さも選手が実力を発揮できなかった要因の一つ。4回のホームランで波に乗りたかったができなかった。選手はまとまっていかなかったと思う。しかし、合同チームの指導は難しかった。」とチームとしての一体感の醸成に苦労した胸の内を語ってくれました。

昨年の夏の大会以降、お互いのグラウンドを行き来して、練習を重ねてきた両校。合同チームとしても、矢部高、蘇陽高のユニフォームで公式戦を戦うのも最後となりました。敗戦後、3塁側のベンチ前に整列した選手に、スタンドに詰めかけた両校の生徒と保護者から惜しみな拍手が送られていました。

第6回蘇陽地区 育成牛品評会

7月15日、J A阿蘇蘇陽家畜検査場で行われた育成牛品評会の結果をお知らせします。

若齢の部（内は出品者）

- 首席 あさがお号（飯星一敏さん）
- 2席 ゆりや号（飯星一敏さん）
- 3席 だいち号（山口隆介さん）



あさがお号

壮齢の部（内は出品者）

- 首席 うめさかえ号（飯星一敏さん）
- 2席 ささゆり号（山口隆介さん）
- 3席 ほしはた号（山口隆介さん）



うめさかえ号